

【引受保険会社】

# 変額保険

## グローバルミックス

アクサ生命保険株式会社



redefining / standards

〒108-8020 東京都港区白金1 17 3

# 月次運用レポート

## 2011年7月

【利用する投資信託の委託会社】

**アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社**



redefining / investment solutions

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社は、マルチ・エキスパートによる資産運用業務をグローバルに展開するアクサ・インベストメント・マネージャーズの日本法人として、機関投資家の資金や投資信託の運用を行う資産運用会社です。1987年の日本進出以来、ファンダメンタルズ情報と最新の運用テクノロジーを結合することにより、一貫した投資哲学に基づく株式のアクティブ運用を行うとともに、債券、オルタナティブ投資商品といった幅広い投資家のニーズに応える高品質な運用商品を提供しています。

### 特別勘定の運用方針について

基本資産 配分比率	運用方針	利用する投資信託	
		投資信託名	委託会社
株式 50%	日本国債をはじめとする債券及び日本・米国・欧州の株式に分散投資することにより、中長期での資産の安定的な成長をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。 基本資産配分は、株式50%程度、債券50%程度とします。 運用の決定にあたっては、収益性、安全性、流動性に配慮し、運用環境の動向に応じた資産配分を行います。 (特別勘定の運用は、アクサ生命保険株式会社 特別勘定運用部が行います。)	アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A) 適格機関投資家私募	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
		アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B) 適格機関投資家私募	
		アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド(A) 適格機関投資家私募	
		アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A) 適格機関投資家私募	
		アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B) 適格機関投資家私募	
債券 50%			

特別勘定の運用方針、利用する投資信託および委託会社等の運用協力会社は、将来変更されることがあります。

特別勘定には、各種支払等に備え、一定の現金、預金等を保有することがあります。

- ・アクサ生命保険株式会社の「変額保険」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・当資料は、アクサ生命保険株式会社の「変額保険」の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。
- ・当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・商品内容の詳細については「リファレンスブック」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・当資料に記載されている各表にある金額、比率、資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等していますので、合計等と合致しないことがあります。

# 変額保険

## 特別勘定の月次運用レポート (2011年7月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 当ページは、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき、アクサ生命保険株式会社が作成し提供するものです。情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

### 運用環境 [ 2011年7月 ]

#### 【日本株式市場】

日本株式市場は、下落しました。TOPIX(東証株価指数)は前月末比0.92%下落の841.37ポイントで終了しました。上旬は、米国景気の過度な減速懸念が後退したことや欧米株式市場の堅調な推移などを受けて、上昇して始めました。しかしその後、米国の債務上限問題や外国為替市場で米ドル/円為替が80円を割り込むまで円高が進行したこと、ギリシャ財政懸念の悪化などから下落に転じました。下旬にかけては、さらに円高が進行したことを受けて売り優勢の展開が続きました。業種別(東証33業種)では、業績が堅調なオリックスの上昇を受けて「その他金融業」(前月末比+3.78%)が最も上昇した一方、業績の悪化を嫌気した任天堂の下落により「その他製品」(同-8.88%)が最も下落しました。

#### 【外国株式市場】

米国株式市場は、6月の米ISM製造業景況指数が予想を上回ったことなどから上昇して始めましたが、その後の雇用統計が軟調だったことや欧州財政懸念の拡大などを受けて、中旬にかけて下落しました。その後、EUがギリシャへの第二次金融支援策に合意したことや良好な企業決算などが好感され、一時は反発に転じたものの、下旬にかけては、米国の債務上限問題が懸念材料となり、NYダウは前月末比2.18%下落の12,143.24ドルで終了しました。欧州株式市場も、前月末のギリシャへの緊縮財政案可決などから大きく反発した流れを受けて、上昇して始めましたが、欧州財政懸念の拡大などから、軒並み下落しました。市場別騰落率は、英FT100が前月末比2.20%下落、仏CAC40が同7.81%下落、独DAXは同2.95%下落となりました。

#### 【日本債券市場】

日本債券市場は、上旬は株価の堅調な推移などから売られ、金利は1.1%台後半に上昇しました。しかしその後、米雇用統計の悪化などから米国の長期金利が低下したことや、外国為替市場での円高進行などを受け、1.1%台を割り込む展開となりました。下旬にかけては、米国の債務上限問題や米国債の格下げへの警戒感などからやや売り優勢となり、新発10年国債利回りは1.08%となりました(前月末は1.13%)。日銀は、政策金利を据え置き、年0~0.1%程度を維持しました。無担保コール(翌日物)は0.1%程度の水準で推移しました。

#### 【外国債券市場】

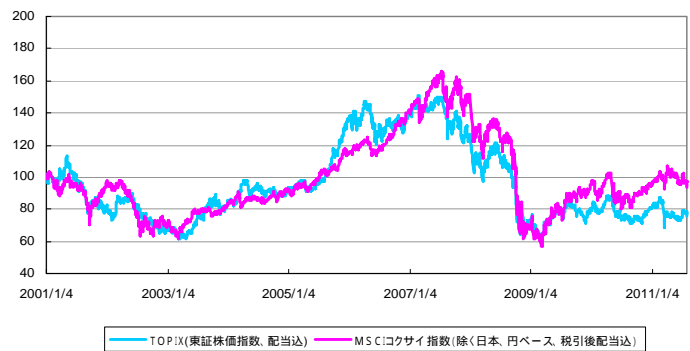
米国債券市場は、6月の米ISM製造業景況指数が堅調だったことなどから金利は上昇して始めました。しかしその後、雇用統計の悪化などから米国景気の減速懸念が強まったことや、米国の債務上限問題、欧州の財政懸念を受けてリスク回避の動きが強まったことなどが買い材料となり、低下しました。米10年国債利回りは、月末は2.796%となりました(前月末は3.160%)。欧州債券市場は、欧州の財政懸念や米国債の格下げ懸念などを受けて相対的に安全とされる独債が買われ、独10年国債利回りは、月末には2.538%となりました(前月末は3.025%)。FRB(米連邦準備制度理事会)は、FF(フェデラル・ファンド)金利の誘導目標を据え置き、年0.0~0.25%を維持しました。ECB(欧州中央銀行)は政策金利を0.25%引き上げ、年1.50%としました。

#### 【外国為替市場】

米ドル/円相場は、軟調な雇用統計、米国の債務上限問題を受けた米国債の格下げ懸念、米国長期金利の低下により日米金利差の縮小が意識されたことなどから、円高が進行しました。その後も、米国金融緩和政策の長期化観測も加わり、月末にかけて円高傾向が続きました。円は対ドルで前月末比2円88銭(+3.57%)円高ドル安の1ドル=77円85銭となりました。ユーロ/円相場は、ポルトガル国債の投資不適格水準への格下げや、財政懸念が他の欧州周辺国に波及するとの懸念などからユーロを売る動きが強まり、円高が進行しました。円は対ユーロで前月末比5円45銭(+4.66%)円高ユーロ安の1ユーロ=111円39銭となりました。

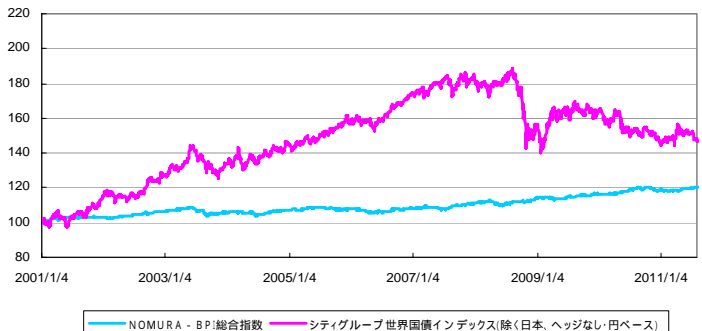
#### 日本と外国の株式市場の推移

\*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。

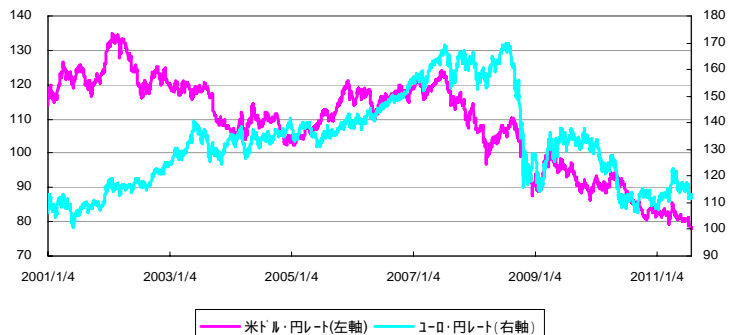


#### 日本と外国の債券市場の推移

\*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



#### 外国為替市場の推移



出所: 株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

#### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

## 変額保険

### 特別勘定の月次運用レポート (2011年7月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

#### 特別勘定の運用状況 [ 2011年7月 末日現在 ]

##### 特別勘定のINDEXの推移

特別勘定のINDEXは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



	2011年7月末	2011年6月末	2011年5月末	2011年4月末	2011年3月末	2011年2月末
INDEX	0.868	0.871	0.873	0.881	0.880	0.897
騰落率 (%)	過去1ヵ月 0.40	過去3ヵ月 1.46	過去6ヵ月 1.68	過去1年 3.88	過去3年 5.85	設定来 13.21

特別勘定のINDEXは、2000年8月1日を1.00として計算しています。

騰落率は、該当月の月末のINDEXに対する当月末のINDEXの変動率を表しています。

##### 特別勘定資産の内訳

項目	金額(千円)	比率(%)
現預金・その他	455,422	1.3
その他有価証券	33,287,136	98.7
アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A)	3,373,814	10.0
アクサ ローゼンバーグ・日本バリュウ株式ファンド(B)	5,082,366	15.1
アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド(A)	4,993,668	14.8
アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A)	3,270,123	9.7
アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B)	16,567,163	49.1
合計	33,742,558	100.0

各特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。

金額の単位未満は四捨五入としました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

今月より「現預金・その他」として、現預金、未収金及び未払金等の合計額を表示しております。

##### 特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

当期のINDEX騰落率等は上記をご参照願います。  
資産配分につきましては、基本資産配分を概ね維持しております。(株式部分は、日本株式25%、欧米株式25%の資産配分といたしました。)  
今後も引き続き、運用方針に沿って運用を行う予定ですが、将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更されることがあります。

##### [引受保険会社]

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

# 変額保険

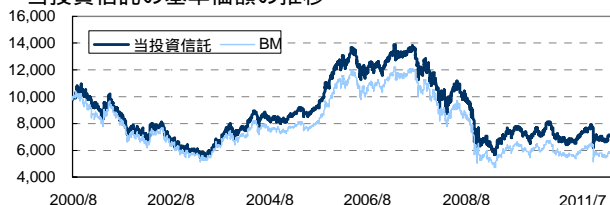
## 特別勘定の月次運用レポート (2011年7月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

### アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A) 適格機関投資家私募 の運用状況

[ 2011年7月 末日現在 ]

#### 当投資信託の基準価額の推移



投資信託の設定日(2000年8月3日)の前日を10,000として指数化しています。

#### 当投資信託の騰落率

	過去 1ヵ月	過去 3ヵ月	過去 6ヵ月	過去 1年	過去 3年	設定来
投資信託	0.92%	1.13%	6.55%	1.27%	32.00%	30.86%
BM	0.92%	1.23%	7.55%	0.96%	35.46%	43.25%
差	0.01%	0.10%	0.99%	2.23%	3.46%	12.39%

#### マザーファンド受益証券の詳細情報

業種	マザーファンド
1 電気機器	13.11%
2 輸送用機器	11.92%
3 卸売業	7.86%
4 銀行業	7.65%
5 情報・通信業	6.31%
6 化学	5.27%
7 機械	4.67%
8 小売業	3.96%
9 その他業種	38.56%
10 現金等	0.70%
合計	100.00%

#### 組入上位10銘柄

銘柄	業種	マザーファンド
1 トヨタ自動車	輸送用機器	3.59%
2 本田技研工業	輸送用機器	2.78%
3 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.43%
4 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.87%
5 キヤノン	電気機器	1.86%
6 三菱商事	卸売業	1.74%
7 日本電信電話	情報・通信業	1.68%
8 三井物産	卸売業	1.33%
9 エス・ティ・ティ・ドコモ	情報・通信業	1.30%
10 みずほフィナンシャルグループ	銀行業	1.22%
合計		19.80%
組入銘柄数		271銘柄

上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

#### 当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比 0.92%となりました。一方、ベンチマークである東証株価指数(TOPIX)の騰落率は、前月末比 0.92%となりました。当月の日本株式市場は純資産利回りが高い銘柄が相対的に上昇する基調にあり、当投資信託はこれらの銘柄をベンチマークに対して多めに保有していたことはプラスに寄与しました。委託会社独自の業種別ではベンチマーク対比で、下落した航空機や自動車を多めに保有していたことはマイナスに寄与しましたが、上昇した飲料・タバコおよび総合商社を多めに保有していたことはプラスに寄与しました。一方、個別銘柄ではベンチマーク対比で、上昇したミサワホーム(1722)や関東自動車工業(7223)を多めに保有していたことはプラスに寄与しましたが、上昇した東京電力(9501)を保有していなかったことや下落した理想科学工業(6413)を多めに保有していたことはマイナスに寄与しました。

当投資信託の運用方針は、わが国の企業の株式から、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別し、ポートフォリオをベンチマークからの乖離が一定の範囲内に収まるよう構築することで、中・長期的な観点から安定的にベンチマークを上回る運用を目指します。割安株の選別は、独自に開発したシステムティックなモデル(定量分析)を幅広い銘柄に適用し、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目して、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行なうことを基本とします。

将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

#### 利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A) 適格機関投資家私募  
 【委託会社】 アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

#### 【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本の株式を対象に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。定量スクリーニングによって割安度が高く、かつ成長性の高い銘柄を中心に投資します。

当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・日本株式マザー・ファンド受益証券 適格機関投資家私募 に投資します。

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2000年8月3日)の前日を起点として計算しています。投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、東証株価指数(TOPIX)<sup>1)</sup>です。

比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

#### 市場別構成比率

市場	マザーファンド
1 東京証券取引所第一部	95.47%
2 大阪証券取引所第一部	3.83%
3 現金等	0.70%
合計	100.00%

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・4ページ～8ページに記載されている「\*1～\*4」の用語説明は、9ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>



# 変額保険

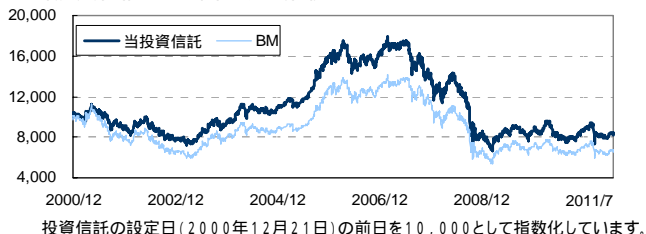
## 特別勘定の月次運用レポート (2011年7月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

### アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B) 適格機関投資家私募 の運用状況

[ 2011年7月 末日現在 ]

#### 当投資信託の基準価額の推移



#### 利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B) 適格機関投資家私募  
 【委託会社】 アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社  
 【運用方針】

マザー・ファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本の株式を対象に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。定量スクリーニングによって割安度が高く、かつ成長性の高い銘柄を中心に積極的に投資します。

当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式マザー・ファンド受益証券 適格機関投資家私募 に投資します。

#### 当投資信託の騰落率

投資信託	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	0.50%	0.23%	6.40%	3.24%	36.57%	17.80%
BM	0.92%	1.23%	7.55%	0.96%	35.46%	34.74%
差	0.43%	1.00%	1.15%	4.20%	1.12%	16.94%

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を起点として計算しています。投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、東証株価指数(TOPIX)<sup>1)</sup>です。

比率は、マザー・ファンド受益証券における純資産総額比となります。

#### マザー・ファンド受益証券の詳細情報

##### 業種別構成比率

業種	マザー・ファンド
1 電気機器	13.74%
2 輸送用機器	10.88%
3 情報・通信業	9.83%
4 卸売業	8.23%
5 銀行業	7.24%
6 化学	7.04%
7 陸運業	6.28%
8 食料品	4.99%
9 その他業種	31.37%
10 現金等	0.41%
合計	100.00%

##### 市場別構成比率

市場	マザー・ファンド
1 東京証券取引所第一部	98.29%
2 大阪証券取引所第一部	0.91%
3 東京証券取引所第二部	0.21%
4 ジャスダック証券取引所	0.12%
5 大阪証券取引所第二部	0.04%
6 名古屋証券取引所第二部	0.01%
7 名古屋証券取引所第一部	0.01%
8 現金等	0.41%
合計	100.00%

#### 組入上位10銘柄

銘柄	業種	マザー・ファンド
1 本田技研工業	輸送用機器	4.26%
2 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	3.50%
3 日本電信電話	情報・通信業	3.22%
4 エヌ・ティ・ティ・ドコモ	情報・通信業	3.07%
5 日立製作所	電気機器	2.98%
6 日本たばこ産業	食料品	2.86%
7 パナソニック	電気機器	2.85%
8 KDDI	情報・通信業	2.65%
9 三菱商事	卸売業	2.41%
10 住友商事	卸売業	2.33%
合計		30.13%
組入銘柄数		157銘柄

上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

#### 当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比 0.50%となりました。一方、ベンチマークである東証株価指数(TOPIX)の騰落率は、前月末比 0.92%となりました。当月の日本株式市場は純資産利回りが高い銘柄が相対的に上昇する基調にあり、当投資信託はこれらの銘柄をベンチマークに対して多めに保有していたことはプラスに寄与しました。委託会社独自の業種別ではベンチマーク対比で、下落した通信および耐久消費財を多めに保有していたことはマイナスに寄与しましたが、上昇した飲料・タバコや総合商社を多めに保有していたことはプラスに寄与しました。一方、個別銘柄ではベンチマーク対比で、上昇した日本たばこ産業(2914)を多めに保有していたことはプラスに寄与しましたが、上昇したファナック(6954)を保有していなかったことや下落したパナソニック(6752)を多めに保有していたことはマイナスに寄与しました。

当投資信託の運用方針は、わが国の企業の株式から、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別し、積極的に投資することで、ベンチマークを中・長期的に上回る運用を目指します。割安株の選別は、独自に開発したシステムティックなモデル(定量分析)を幅広い銘柄に適用し、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目して、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行なうことを基本とします。

将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・4ページ～8ページに記載されている「\*1～\*4」の用語説明は、9ページに記載しています。

#### [引受保険会社]

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

# 変額保険

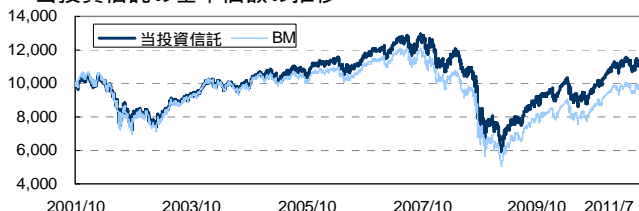
## 特別勘定の月次運用レポート (2011年7月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

### アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド(A) 適格機関投資家私募 の運用状況

[ 2011年7月 末日現在 ]

#### 当投資信託の基準価額の推移



投資信託の設定日(2001年10月16日)の前日を10,000として指数化しています。

#### 当投資信託の騰落率

	過去 1ヵ月	過去 3ヵ月	過去 6ヵ月	過去 1年	過去 3年	設定来
投資信託	0.69%	4.15%	2.85%	19.35%	1.53%	10.28%
BM	0.53%	4.09%	1.82%	17.75%	0.64%	3.91%
差	0.16%	0.05%	1.04%	1.60%	2.17%	14.19%

#### 利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド(A) 適格機関投資家私募  
 【委託会社】 アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社  
 【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として米国の企業が発行する株式を対象に投資を行い、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」(バリューストック)を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的にみて、安定的に上回る運用をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。

当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・米国株式マザー・ファンド受益証券 適格機関投資家私募 に投資します。

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2001年10月16日)の前日を起点として計算しています。

投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、S & P 500種株価指数<sup>2</sup>(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの/円ベース)です。

比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

#### マザーファンド受益証券の詳細情報 セクター別構成比率

セクター	マザー・ファンド
1 エネルギー	10.99%
2 テクノロジー・ハードウェア	8.09%
3 ソフトウェア・サービス	8.03%
4 資本財	7.49%
5 医薬品バイオテクノロジー	7.28%
6 各種金融	6.23%
7 ヘルスケア機器・サービス	5.23%
8 素材	4.88%
9 その他業種	36.68%
10 現金等	5.08%
合計	100.00%

#### 組入上位10銘柄

銘柄	国名	セクター	マザー・ファンド
1 APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア	4.06%
2 EXXON MOBIL CORPORATION	アメリカ	エネルギー	3.00%
3 CHEVRON CORP	アメリカ	エネルギー	2.44%
4 JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ	各種金融	2.24%
5 PFIZER INC	アメリカ	医薬品バイオテクノロジー	2.18%
6 INTEL CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	1.95%
7 MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.85%
8 ORACLE CORPORATION	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.64%
9 INTEL BUSINESS MACHINES CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.37%
10 HEWLETT-PACKARD CO	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア	1.35%
合計			22.09%
組入銘柄数			226銘柄

上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

#### 当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比 0.69%となりました。一方、ベンチマークであるS & P 500種株価指数(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの)の騰落率は、前月末比0.53%となりました。

当月の米国株式市場は純資産利回りの高い銘柄が相対的に下落する基調にあり、当投資信託はこれらの銘柄をベンチマークに対して多めに保有していたことはマイナスに寄与しました。委託会社独自の業種別ではベンチマーク対比で、下落した電気機器および移動体通信を少なめに保有していたことはプラスに寄与しましたが、上昇したREITおよび石油を少なめに保有していたことはマイナスに寄与しました。一方、個別銘柄ではベンチマーク対比で、下落したテクノロジー・ハードウェアのCORNINGを多めに保有していたことはマイナスに寄与しましたが、上昇した素材のCF INDUSTRIES HOLDINGSやアパレルのVF CORPを多めに保有していたことはプラスに寄与しました。

当投資信託の運用方針は、米国企業の株式の中で、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的に安定的に上回る運用を目指します。割安株の選別は、銘柄選択用クオンツモデル(定量分析)等により、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目し、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行なうことを基本とします。

将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・4ページ~8ページに記載されている「\*1~\*4」の用語説明は、9ページに記載しています。

#### [引受保険会社]

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

# 変額保険

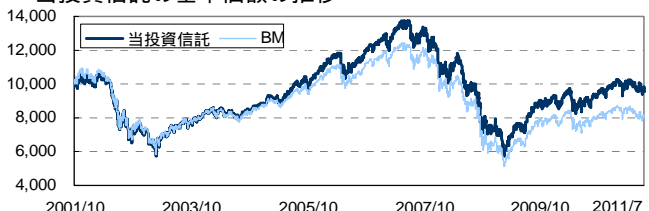
## 特別勘定の月次運用レポート (2011年7月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

### アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A) 適格機関投資家私募 の運用状況

[ 2011年7月 末日現在 ]

#### 当投資信託の基準価額の推移



投資信託の設定日(2001年10月16日)の前日を10,000として指数化しています。

#### 当投資信託の騰落率

	過去 1ヵ月	過去 3ヵ月	過去 6ヵ月	過去 1年	過去 3年	設定来
投資信託	2.42%	6.47%	3.93%	5.57%	2.52%	4.42%
BM	2.37%	7.23%	5.89%	2.32%	10.23%	20.22%
差	0.05%	0.76%	1.96%	3.25%	7.71%	15.80%

#### 利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A) 適格機関投資家私募  
 【委託会社】 アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社  
 【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として欧州地域の企業が発行する株式を対象に投資を行い、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」(バリューストック)を選択してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的にみて、安定的に上回る運用をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。

当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・欧州株式マザー・ファンド受益証券 適格機関投資家私募 に投資します。

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2001年10月16日)の前日を起点として計算しています。

投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、MSCI欧州株価指数<sup>3</sup>(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの/円ベース)です。

比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

#### マザーファンド受益証券の詳細情報

##### 国別構成比率

	国名	マザー・ファンド
1	イギリス	26.68%
2	フランス	14.59%
3	ドイツ	13.32%
4	スイス	12.61%
5	オランダ	7.77%
6	スウェーデン	4.90%
7	スペイン	4.31%
8	イタリア	3.40%
9	その他の国	8.39%
10	現金等	4.03%
合計		100.00%

##### セクター別構成比率

	セクター	マザー・ファンド
1	素材	12.80%
2	エネルギー	11.28%
3	医薬品・バイオテクノロジー	10.10%
4	銀行	9.81%
5	資本財	8.48%
6	食品・飲料・タバコ	7.90%
7	電気通信サービス	5.88%
8	保険	5.25%
9	その他業種	24.46%
10	現金等	4.03%
合計		100.00%

#### 組入上位10銘柄

銘柄	国名	セクター	マザー・ファンド	
1	NOVARTIS AG-REG SHS	スイス	医薬品・バイオテクノロジー	2.40%
2	NESTLE SA-REGISTERED	スイス	食品・飲料・タバコ	2.34%
3	BP PLC	イギリス	エネルギー	2.14%
4	ROYAL DUTCH SHELL PLC-A SHS	オランダ	エネルギー	2.11%
5	TOTAL SA	フランス	エネルギー	2.03%
6	RIO TINTO PLC	イギリス	素材	1.95%
7	BASF SE	ドイツ	素材	1.86%
8	HSBC HOLDINGS PLC	イギリス	銀行	1.85%
9	SANOFI	フランス	医薬品・バイオテクノロジー	1.75%
10	ROYAL DUTCH SHELL PLC-B SHS	オランダ	エネルギー	1.65%
合計			20.08%	
組入銘柄数			264銘柄	

上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

#### 当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比 2.42%となりました。一方、ベンチマークであるMSCI欧州株価指数(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの)の騰落率は前月末比 2.37%となりました。

当月の欧州株式市場は市場連動性が高い銘柄が相対的に下落する基調にあり、当投資信託はこれらの銘柄をベンチマークに対して多めに保有していたことはマイナスに寄与しました。委託会社独自の業種別ではベンチマーク対比で、上昇した石油メジャーおよび医薬品を多めに保有していたことはプラスに寄与しましたが、上昇した銀行や飲料・タバコを少なめに保有していたことはマイナスに寄与しました。一方、個別銘柄では、下落した保険のAXA(フランス)を少なめに保有していたことはプラスに寄与しましたが、下落した資本財のFINMECCANICA(イタリア)およびテクノロジーのALCATEL-LUCENT(フランス)を多めに保有していたことはマイナスに寄与しました。

当投資信託の運用方針は、欧州企業の株式の中で、個別銘柄の市場価格が適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的に安定的に上回る運用を目指します。割安株の選別は、銘柄選択用クオンツモデル(定量分析)等により、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目し、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行なうことを基本とします。

将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・4ページ~8ページに記載されている「\*1~\*4」の用語説明は、9ページに記載しています。

#### [引受保険会社]

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>



# 変額保険

## 特別勘定の月次運用レポート (2011年7月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

### アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B) 適格機関投資家私募 の運用状況

[ 2011年7月 末日現在 ]

#### 当投資信託の基準価額の推移



#### 利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B) 適格機関投資家私募  
 【委託会社】 アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社  
 【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、原則としてわが国の公社債に投資を行い、ベンチマークを中長期的にみて、上回る運用をめざします。外貨建資産に投資した場合は、原則として為替ヘッジを行います。

当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・日本債券マザー・ファンド受益証券 適格機関投資家私募 に投資します。

#### 当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	0.27%	0.04%	0.20%	0.33%	4.95%	13.26%
BM	0.32%	0.62%	0.86%	0.62%	6.67%	17.78%
差	0.05%	0.58%	1.06%	0.95%	1.72%	4.52%

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を起点として計算しています。投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、日興債券パフォーマンス・インデックス(総合<sup>1</sup>、中期3年以上7年未満)です。

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

#### マザーファンド受益証券の詳細情報 資産構成

	修正デュレーション	マザーファンド
公社債	4.26年	97.69%
国債	4.47年	66.60%
地方債	0.00年	0.00%
特殊債・財投債	3.52年	7.46%
金融債	3.28年	1.04%
社債等	3.96年	22.59%
その他	0.00年	0.00%
短期資産等*	0.00年	2.31%
合計	4.17年	100.00%

\* 債券先物を含みます。

#### 公社債の格付別構成比率

格付区分	マザーファンド
AAA	1.06%
AA	86.68%
A	12.26%
BBB	0.00%
BB以下(無格付含)	0.00%
合計	100.00%

格付基準:

海外格付機関の格付を優先します。海外格付機関の格付取得の無い発行体は、国内格付機関の格付けを採用します。

「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

#### 組入上位10銘柄

順位	銘柄	国名	クーポン	償還日	格付		マザーファンド
					ムーディーズ	S&P	
1	第277回利付国債(10年)	日本	1.600%	2016年3月20日	Aa2	AA-	7.56%
2	第259回利付国債(10年)	日本	1.500%	2014年3月20日	Aa2	AA-	6.34%
3	第257回利付国債(10年)	日本	1.300%	2013年12月20日	Aa2	AA-	6.03%
4	第269回利付国債(10年)	日本	1.300%	2015年3月20日	Aa2	AA-	5.03%
5	第93回利付国債(5年)	日本	0.500%	2015年12月20日	Aa2	AA-	4.12%
6	第272回利付国債(10年)	日本	1.400%	2015年9月20日	Aa2	AA-	3.47%
7	第273回利付国債(10年)	日本	1.500%	2015年9月20日	Aa2	AA-	3.38%
8	第288回利付国債(10年)	日本	1.700%	2017年9月20日	Aa2	AA-	3.28%
9	第4回 日本政策投資銀行	日本	1.158%	2014年6月20日	Aa2	A+	3.14%
10	第312回利付国債(10年)	日本	1.200%	2020年12月20日	Aa2	AA-	3.12%
合計							45.46%
組入銘柄数							47銘柄

上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

#### 当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比+0.27%、一方、ベンチマークである日興債券パフォーマンス・インデックス(総合、中期3年以上7年未満)は前月末比+0.32%となりました。当月は日本経済の指標に安定化の兆しが見られました。大震災後に大幅に下落した鉱工業生産は、自動車や電子部品・機器メーカーの回復などにより6月は+3.9%となりました。6月の小売売上高は前月比で+2.9%と、4月以降3ヶ月連続の増加となりました。6月の貿易統計輸出総額は前年比でマイナスではありますが、自動車輸出に牽引され、前月の10.3%から1.6%へと改善の方向です。債券市場では、新発10年国債利回りが前月比で0.05%低下の1.08%となりました。7月初めはリスク回避傾向が弱まったことから10年国債の利回りは上昇しましたが、その後、欧州財政危機への懸念がイタリアにも波及したことや米国国債格下げに対する懸念からリスク回避傾向が再び高まると、利回りが大きく低下しました。また、円高の進行や株価下落が見られると、安全資産と見做される債券が買われ、国債利回りは更に低下しました。当月の当投資信託はベンチマーク比でデュレーションを短期化していたことや社債スプレッド(利回り格差)が拡大したことから、ベンチマークを下回る結果となりました。今後は、問題を抱えた欧米経済への懸念等から、委託会社は日本の国債利回りには低下圧力がかかると考えています。一方、国内の首相交代の時期や10兆円規模の第3次補正予算編成の時期が不透明であることなどから、委託会社は今後の当投資信託の運用方針として、デュレーションを適切なタイミングでベンチマークと同等の水準に調整します。

将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・4ページ~8ページに記載されている「\*1~\*4」の用語説明は、9ページに記載しています。

#### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>



## 用語説明

- \*1 「東証株価指数(TOPIX)」とは、東京証券取引所第一部に上場する国内株全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。  
東証株価指数(TOPIX)は、株式会社東京証券取引所(以下「東証」)の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など株価指数に関するすべての権利は東証が有しています。  
東証は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止、またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
- \*2 「S & P 500種株価指数」とは、スタンダード・アンド・プアーズ社が公表している株価指数で、米国の主要500社によって構成されています。当該指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利はスタンダード・アンド・プアーズ社に帰属しています。S & P 500種株価指数(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの)は、S & P 500種株価指数(米ドルベース)に対し、委託会社が為替ヘッジコスト相当分を調整して、わが国の対顧客電信売買相場の仲値を用いて円ベースに換算したものです。
- \*3 「MSCI欧州株価指数」とは、MSCI Inc. の算出する欧州株式市場の動きを示す指数です。MSCI欧州株価指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。  
また、MSCI Inc. は、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。MSCI欧州株価指数(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの)は、MSCI欧州株価指数(ユーロベース)に対し、委託会社が為替ヘッジコスト相当分を調整して、わが国の対顧客電信売買相場の仲値を用いて円ベースに換算したものです。
- \*4 「日興債券パフォーマンス・インデックス(総合)」とは、日興フィナンシャル・インテリジェンス株式会社が発表している、日本の債券市場の動きを表す指数です。国債、地方債、政府保証債、財投機関債、金融債、事業債などの円建て公募利付債で構成されています。対象となる債券は残存年数1年以上、残存額面10億円以上で、格付機関からBBB格相当以上の格付を取得している発行体に限られます。当該指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は日興コーポラル証券株式会社に帰属します。また、日興コーポラル証券株式会社は当該指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

## 注意事項

### 変額保険の仕組み

変額保険とは、保険金額が「特別勘定」の資産運用実績にもとづいて変動する生命保険です。

\*特別勘定とは、変額保険にかかわる資産の管理・運用を行うもので、他の保険種類にかかわる資産とは区分し、独立して管理・運用を行います。

### 変額保険のリスクについて

#### 市場リスク

特別勘定の資産運用には、株価の低下や為替の変動等による投資リスクがあります。場合によっては、お受け取りになる保険金額(有期型の場合、満期保険金を含む)や解約払いもどし金額の合計額が、払い込まれた保険料の合計額を下回る可能性があります。なお運用実績にかかわらず、死亡・高度障害時保険金は保証されています。

#### 信用リスク

万一、引受生命保険会社が経営破綻に陥った場合、ご契約時にお約束した給付金等の金額が削減されることがあります。その場合、生命保険契約者保護機構により、保険契約者保護の措置が図られることがありますが、この場合にも、ご契約時の給付金等の金額が削減されることがあります。

### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

## 契約月別の運用実績の例

(一時払、男性40歳加入、基本保険金額1,000万円の場合。但し、有期型の場合は、保険期間10年)

契約日	終身型		有期型		契約月別 運用実績 (%)	年複利 (%)
	保険金額 (万円)	変動保険金額 (万円)	保険金額 (万円)	変動保険金額 (万円)		
平成12年 8月 1日	1,000	-522	-	-	-13.21	-1.28
平成12年 9月 1日	1,000	-529	-	-	-14.50	-1.42
平成12年 10月 1日	1,000	-510	-	-	-12.05	-1.18
平成12年 11月 1日	1,000	-494	-	-	-10.06	-0.98
平成12年 12月 1日	1,000	-476	-	-	-7.77	-0.76
平成13年 1月 1日	1,000	-459	-	-	-5.73	-0.56
平成13年 2月 1日	1,000	-469	-	-	-7.45	-0.73
平成13年 3月 1日	1,000	-439	-	-	-3.50	-0.34
平成13年 4月 1日	1,000	-421	-	-	-1.33	-0.13
平成13年 5月 1日	1,000	-441	-	-	-4.48	-0.45
平成13年 6月 1日	1,000	-434	-	-	-3.89	-0.39
平成13年 7月 1日	1,000	-422	-	-	-2.55	-0.26
平成13年 8月 1日	1,000	-400	1,000	-342	0.32	0.03
平成13年 9月 1日	1,000	-367	1,000	-310	4.62	0.46
平成13年 10月 1日	1,000	-326	1,000	-271	9.98	0.97
平成13年 11月 1日	1,000	-339	1,000	-284	7.72	0.77
平成13年 12月 1日	1,000	-344	1,000	-288	6.72	0.68
平成14年 1月 1日	1,000	-343	1,000	-287	6.39	0.65
平成14年 2月 1日	1,000	-320	1,000	-265	9.30	0.94
平成14年 3月 1日	1,000	-326	1,000	-270	8.08	0.83
平成14年 4月 1日	1,000	-337	1,000	-281	6.11	0.64
平成14年 5月 1日	1,000	-331	1,000	-275	6.58	0.69
平成14年 6月 1日	1,000	-332	1,000	-277	5.96	0.63
平成14年 7月 1日	1,000	-300	1,000	-245	10.06	1.06
平成14年 8月 1日	1,000	-271	1,000	-216	13.89	1.46
平成14年 9月 1日	1,000	-268	1,000	-213	13.88	1.47
平成14年 10月 1日	1,000	-242	1,000	-187	17.12	1.81
平成14年 11月 1日	1,000	-240			17.11	1.82
平成14年 12月 1日	1,000	-251			15.07	1.63
平成15年 1月 1日	1,000	-227			18.09	1.96
平成15年 2月 1日	1,000	-204			20.91	2.26
平成15年 3月 1日	1,000	-198			21.39	2.33

契約日	終身型		有期型		契約月別 運用実績 (%)	年複利 (%)
	保険金額 (万円)	変動保険金額 (万円)	保険金額 (万円)	変動保険金額 (万円)		
平成15年 4月 1日	1,000	-194			21.53	2.37
平成15年 5月 1日	1,000	-207			19.05	2.14
平成15年 6月 1日	1,000	-218			17.01	1.94
平成15年 7月 1日	1,000	-233			14.55	1.69
平成15年 8月 1日	1,000	-240			13.09	1.55
平成15年 9月 1日	1,000	-246			11.84	1.42
平成15年 10月 1日	1,000	-246			11.35	1.38
平成15年 11月 1日	1,000	-254			9.82	1.22
平成15年 12月 1日	1,000	-250			10.00	1.25
平成16年 1月 1日	1,000	-258			8.51	1.08
平成16年 2月 1日	1,000	-266			6.97	0.90
平成16年 3月 1日	1,000	-274			5.46	0.72
平成16年 4月 1日	1,000	-284			3.76	0.51
平成16年 5月 1日	1,000	-282			3.72	0.51
平成16年 6月 1日	1,000	-272			4.62	0.63
平成16年 7月 1日	1,000	-280			3.21	0.45
平成16年 8月 1日	1,000	-264			4.89	0.68
平成16年 9月 1日	1,000	-263			4.68	0.66
平成16年 10月 1日	1,000	-261			4.52	0.65
平成16年 11月 1日	1,000	-257			4.75	0.69
平成16年 12月 1日	1,000	-264			3.37	0.50
平成17年 1月 1日	1,000	-274			1.64	0.25
平成17年 2月 1日	1,000	-272			1.54	0.23
平成17年 3月 1日	1,000	-282			-0.06	-0.01

注(1) 保険金額は、基本保険金額に変動保険金額を加えた保障額を示したものです。ただし、変動保険金額が負値の場合、保険金額は基本保険金額を表示しています。

- (2) 契約月別運用実績は、契約時点に特別勘定に投入した金額の平成23年7月末までの運用実績を示したものです。  
なお、この運用実績は、ご契約者の支払われた保険料から死亡保障額等に当てられたものを控除した部分の伸び率です。
- (3) 年複利は契約月別運用実績を年複利換算したものです。
- (4) 終身型は、平成17年3月31日で販売終了しています。
- (5) 有期型は平成14年10月31日で販売終了しています。